

「なぜ」を深める 科学的思考文化の進化 (令和元年度重点努力目標)

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に選ばれました。「なぜ」を深める科学的思考文化の進化を令和元年度の重点努力目標として教育活動を行っています。

有法子「防災」「経済」発表会



7月4日(木)5時間目に、クラスの代表が各テーマを発表しました。「防災」では、南海トラフ大地震を想定し、課題について研究計画を立てました。「経済」では、西条地域における経済の課題を発見し、経済をより活性化させるための案を出し、課題研究の計画を立てました。双方とも今後の実施が期待されます。質疑応答の時間には、活発な意見交換が行われました。防災や西条市の経済について、皆で考えることができる良い機会となりました。

各クラスのテーマ及び発表者は以下の通りです。

- 1組 避難所での共同生活
～トラブル・ストレスなく非難生活を送るには～
- 2組 地域全体の防災意識を高めよう
- 3組 七草と芝桜で西条を元気に～農業体験を通して～
- 4組 カブトガニで経済効果
- 5組 体験する観光
- 6組 南海トラフ大地震から人々を救え！！
- 7組 身近なモノで作る防災グッズでクオリティ・オブ・ライフ

基礎科学セミナー研究授業



基礎科学セミナーの授業では、1年生を対象に科学的思考力や表現力を養うとともに、課題研究に向けたスキル向上を図っています。7月12日(金)5限の研究授業では、身近な科学の原理について4つのグループが英語によるプレゼン発表を行いました。生徒は、質疑応答も英語で行うなど、積極的に取り組みました。

マルチ I (A・B講座) 研究経過報告会



7月12日(金)の3・4限目に、「マルチサイエンス I」(文系)の研究経過報告会が行われました。4月から各講座で取り組んできた課題研究に対して、愛媛県総合教育センターの先生方から、今後の研究の進め方やプレゼンテーションの仕方について具体的にアドバイスをいただきました。



マルチ I (C・D講座) 研究経過報告会



理系C・D講座は、7月10日(水)5・6時間目に数学・物理・化学・生物・地学分野ごとに分かれて各グループ経過報告を行いました。愛媛県総合教育センターと新居浜工業高等専門学校の方にも見ていただき、様々な助言をいただきました。発表後は、活発な質疑応答を行い、今後研究を進めていく上で重要な指針を得ることができました。地学グループは、報告会后、中山川支流の関屋川の砂防堰堤を巡検しました。